



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月10日

上場会社名 株式会社シノプス 上場取引所 東  
 コード番号 4428 URL <https://www.sinops.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南谷 洋志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 島井 幸太郎 TEL 06 (6341) 1225  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	445	29.9	△53	—	△39	—	△30	—
2020年12月期第2四半期	342	△5.0	△101	—	△113	—	△79	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△4.95	—
2020年12月期第2四半期	△13.20	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,716	1,303	75.6
2020年12月期	1,718	1,329	76.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,298百万円 2020年12月期 1,321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,201	32.1	100	340.2	112	852.1	59	638.9	9.68

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	6,145,000株	2020年12月期	6,107,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	123株	2020年12月期	80株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	6,126,199株	2020年12月期2Q	6,047,135株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算説明資料は、TDnetで開示するとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### a. 経営環境

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は大きく、経済活動の回復に向けた動きは鈍く、先行きは極めて不透明な状況が継続しております。当社の主要顧客である小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による在宅勤務、外食控え等からくる巣ごもり消費拡大への対応、感染予防を目的とする新しい生活様式の浸透によるマスクや消毒液などの衛生管理用品の需要急増への対応、店舗における感染拡大防止策の実施等、非常に激しい変化が求められました。

また、小売業界においては、労働需給のひっ迫による人件費、物流費の上昇や業種業態を超えた顧客の獲得競争に加え、持続可能な開発目標 (SDGs) の採択に基づいた食品ロス削減運動も社会課題として対応が急がれております。そのため、省力化・食品ロスの削減に貢献できる当社の自動発注システムに対するニーズが高まっており、今後もさらなる市場拡大が見込めます。

このような急激な環境変化の中で、当社は昨年よりクラウドサービス中心への方針転換を掲げ、タイムリーに店頭在庫を把握できる機能や惣菜カテゴリに特化した自動発注サービスを中心に新サービスの開発を急ピッチで進めてまいりました。

その結果、当社の導入実績は、2021年6月30日時点で契約企業数94社（前年同期比18社増）、クラウドサービスの稼働アカウント数1,926アカウント（前事業年度末比566アカウント増）（注）、その他の稼働拠点数5,411拠点（前年同期比201拠点増）に増加しております。当第2四半期累計期間における売上高は445,102千円（前年同期比29.9%増）、営業損失は53,586千円（前年同期は101,417千円の営業損失）、経常損失は39,962千円（前年同期は113,561千円の経常損失）、四半期純損失は30,327千円（前年同期は79,846千円の四半期純損失）となりました。

（注）アカウント数とはクラウドサービス利用数。1店舗で3サービス利用している場合は3アカウント。

#### b. 経営成績の分析

（単位：千円）

	2020年12月期 第2四半期累計期間	2021年12月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	342,607	445,102	102,495	29.9%
売上原価	253,554	287,206	33,651	13.3%
売上総利益	89,053	157,896	68,843	77.3%
販売費及び一般管理費	190,471	211,483	21,012	11.0%
営業損失	△101,417	△53,586	47,831	—
経常損失	△113,561	△39,962	73,598	—
四半期純損失	△79,846	△30,327	49,519	—

#### ①売上高

パッケージ売上高は、クラウドサービスを中心に新規商談を進めたことが主要因となり、13,200千円（前年同期比9,662千円減・42.3%減）となりました。導入支援売上高は、クラウドサービスの新規受注が増加したことに伴い導入支援プロジェクトが増加したことが主要因となり、140,048千円（同81,270千円増・138.3%増）となりました。サポート売上高は、既存ユーザーの店舗展開が順調に進んだことが主要因となり、149,875千円（同21,304千円増・16.6%増）となりました。クラウド売上高（過去の経営成績の分析におけるレンタル売上高を含めております。）は、新規のクラウド利用アカウント数が増加したことが主要因となり、141,978千円（同9,583千円増・7.2%増）となりました。その結果、当第2四半期累計期間における売上高は445,102千円（同102,495千円増・29.9%増）となりました。

#### ②売上総利益

第2四半期累計期間は、クラウドサービスの展開に伴う製造部門の社員数増加やサーバ利用料の増加が主要因となり、売上原価が前年同期比33,651千円増加（前年同期比13.3%増）となりました。その結果、売上総利益が157,896千円（同68,843千円増・77.3%増）となりました。

③営業損益・経常損益

当第2四半期累計期間は、クラウドサービス拡販に伴う営業部門の社員数増加や広告宣伝費の増加が主要因となり、販売費及び一般管理費が前年同期比21,012千円増加（前年同期比11.0%増）となりました。その結果、営業損失が53,586千円（前年同期は101,417千円の営業損失）となりました。

また、東京都との共同プロジェクト関連の補助金収入を営業外収益として計上しており、経常損失は39,962千円（同113,561千円の経常損失）となりました。

④四半期純損益

当第2四半期累計期間における四半期純損失は30,327千円（前年同期は79,846千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期会計期間末における総資産は1,716,923千円（前事業年度末比2,010千円の減少）となりました。主な要因は、現金及び預金が182,763千円、無形固定資産が20,604千円増加した一方で、売掛金が164,406千円、その他流動資産に含まれる未収法人税等が41,237千円減少したこと等によるものであります。

②負債

負債は413,073千円（前事業年度末比23,447千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が19,950千円、その他流動負債に含まれる未払消費税等が8,126千円減少した一方で、その他流動負債に含まれる前受金が27,758千円、その他流動負債に含まれる未払金が18,518千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

純資産は1,303,850千円（前事業年度末比25,458千円の減少）となりました。主な要因は、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,598千円増加した一方で、利益剰余金が30,327千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間につきましては、クラウドサービスを中心に新規商談を進めたことでパッケージ売上高が前年同期比42.3%減となりました。一方で、クラウドサービスの新規受注が順調に進み、導入支援売上高が前年同期比138.3%増となっており、当初計画を上回るスピードで進捗しております。

第3四半期以降につきましては、引き続きクラウドサービスの新規受注を上乘せしていくと同時に、クラウドサービスの稼働アカウント数も増やすことに注力してまいります。また、パッケージ販売についても受注済の案件が数社あり、全体の売上高については当初計画通りに進んでおります。

そのため、2021年12月期通期の業績予想につきましては、2021年2月10日の「2020年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,077,266	1,260,030
売掛金	256,508	92,102
仕掛品	786	8,443
その他	63,271	16,800
流動資産合計	1,397,834	1,377,377
固定資産		
有形固定資産	37,475	31,705
無形固定資産	168,043	188,647
投資その他の資産	115,581	119,193
固定資産合計	321,100	339,546
資産合計	1,718,934	1,716,923
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,915	7,962
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	34,200	34,200
未払法人税等	2,238	5,320
製品保証引当金	12,252	17,334
受注損失引当金	2,219	—
その他	164,278	201,552
流動負債合計	323,104	366,369
固定負債		
長期借入金	62,950	43,000
退職給付引当金	3,571	3,703
固定負債合計	66,521	46,703
負債合計	389,626	413,073
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	413,811	417,409
資本剰余金	374,241	377,839
利益剰余金	533,495	503,168
自己株式	△162	△233
株主資本合計	1,321,385	1,298,183
新株予約権	7,922	5,666
純資産合計	1,329,308	1,303,850
負債純資産合計	1,718,934	1,716,923

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	342,607	445,102
売上原価	253,554	287,206
売上総利益	89,053	157,896
販売費及び一般管理費	190,471	211,483
営業損失(△)	△101,417	△53,586
営業外収益		
受取利息	4	5
補助金収入	—	13,596
その他	257	573
営業外収益合計	261	14,174
営業外費用		
支払利息	11	360
その他	12,394	190
営業外費用合計	12,405	551
経常損失(△)	△113,561	△39,962
特別損失		
固定資産除却損	42	2,714
特別損失合計	42	2,714
税引前四半期純損失(△)	△113,603	△42,677
法人税、住民税及び事業税	555	475
法人税等調整額	△34,312	△12,826
法人税等合計	△33,757	△12,350
四半期純損失(△)	△79,846	△30,327

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△113,603	△42,677
減価償却費	32,495	40,079
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	11	360
売上債権の増減額 (△は増加)	313,330	164,406
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,619	△7,657
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,030	46
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,636	5,082
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	132	132
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,219
固定資産除却損	42	2,714
株式公開費用	12,280	—
前受金の増減額 (△は減少)	10,529	27,758
未払金の増減額 (△は減少)	36,883	27,205
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,917	△8,126
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△12,878	3,107
預り金の増減額 (△は減少)	△6,334	△877
その他	2,087	5,546
小計	238,765	214,878
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△11	△360
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△74,366	40,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,392	255,257
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26,647	—
無形固定資産の取得による支出	△44,032	△57,504
差入保証金の回収による収入	64	91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,614	△57,413
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△5,843	△19,950
自己株式の取得による支出	△63	△70
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,420	4,940
株式公開費用による支出	△6,900	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,386	△15,080
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,390	182,763
現金及び現金同等物の期首残高	796,570	1,077,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	881,961	1,260,030



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。